

- 題材** . . . 「どうぞよろしくの会をしよう」
- ねらい** . . . いろいろな友だちのことを知り、学校生活を一緒に楽しくすごそうとする
- 工夫点** . . . 「どうぞよろしく」カード、保護者の協力
- 準備** . . . *自己紹介「どうぞよろしく」カード* 家庭への通知

児童の活動

教師の支援と評価()

【事前の活動】	
学級活動	自己紹介カードの説明を聞く
家庭で	自己紹介が友だちの前でできるように家庭で練習をする
放課後等	会の進行の準備

- ・本時の活動に意欲がもてるような言葉かけをする
- ・保護者に協力を依頼し(資料)、みんなの前で発表する練習を家庭で行えるようにする
- ・自己紹介カードの各項目を集計する
- ・集計結果から「学級のみんな」のことを知らせたり、「みんなと自分の関係」を意識できるようにしたりする
- ・「どうぞよろしく」カードの写真を撮る
- ・会の進行の準備をする

【本時の活動】	
「どうぞよろしくの会」	
1 はじめのことば	
2 会のすすめ方	
3 友だちの自己紹介を聞く	
4 先生のお話	
5 「どうぞよろしく」カードに写真をはり、完成させ、教室にはる	

- ・子どもの実態に合わせ、会の進行を少しずつ任せる
- ・会の趣旨をわかりやすく話し、発表するとき、聞くとき、それぞれのめあてを伝える
- ・みんなの前で話すことが苦手な子どもには側で寄り添ったり、声をかけたりする
- ・話の聞き方、発表の仕方を賞賛する
- ・事前に準備した、項目ごとの集計結果から学級のみんなの様子を伝えることで、友だちに関心をもったり、同じ好みの仲間を意識したりできるようにする
- ・友だちとかがかわることで「楽しみなこと」が増やしていけるよう支援する
- ・楽しそうに友だちのカードを見ている

【事後の活動】	
帰りの会	「友だちになったよ」や「楽しかったよ」コーナーなどで、かわりの広がりを伝え合う

- ・カードを通して知った友だちのことから、どんどんかかわりを広げ、楽しい学校生活が自分でつくっていけるよう支援する
- ・「楽しみなこと」「いっしょにあそぼう」カードははり足していけるよう準備しておく
- ・カードを通じて、友だちとかがかわっている

留意点

字が書ける時点で、「事後の活動」が目に見える形で充実するが、それまでは帰りの会等で、友だちとのかかわりを取り上げ、よいかかわりをみんなで認めていく活動を充実させる。このような日々の取組が、子ども一人一人の学級への適応、人間関係づくりに大きく影響する。低学年ではこのような、基本的な生活習慣の一部でもある技術的な内容を計画的に取り上げ、子どもたちが徐々に集団に適応していけるよう配慮することが重要である。また、低学年であるほど活動の中で学んだこと、感じたことを掲示物にまとめ、目に見える形に表すことが効果的である。学んだことの価値、一人一人の思いや考えなどを視覚的に捉えられるよう工夫することで子どもたちの活動意欲をさらに高めることが期待できる。

* 「どうぞよろしくカード」

どうぞよろしく!



わたしの なまえは

です

が つ に ち に

うまれました

すきな たべものは

です

すきな あそびは

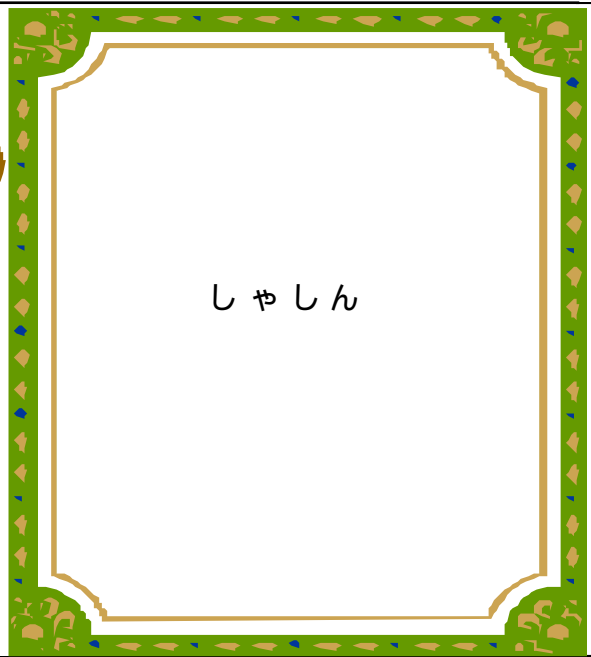
です

がっこうで たのしみな ことは

です



みなさん
どうぞよろしく!



しゃしん

の り

お名前をここに書いてください

〇〇するひと
このゆびとまれ!

いっしょに

をして

あそびましょう

より

* 保護者への依頼文

保護者の皆様へ

自己紹介カード「どうぞよろしく」
作成のお願い

年 組
担任

4月の学級活動で自己紹介を行います。
つきましては、本日児童が持ち帰った
自己紹介カード「どうぞよろしく」の記入
をよろしくお願いいたします。

児童は自己紹介にこのカードを使用し、
その後教室に掲示する予定です。

写真は学校で準備いたします。
また、「する人この指とまれ」のコー
ナーは記入しないようお願いいたします。

事後の活動として、「楽しみ」
を増やす、かかわりを広げていく
ためにカードを増し刷りして「ど
うぞよろしく」カードに貼りたして
いけるうにする。カードをもとに、
遊びの様子を伝えあうこともよい。

保護者に学級での取組に協力し
てらうと共に、子どもたちが友だ
ちとかかわりをもつための学習を
行うことへの関心を高めたい。保
護者と共に、学級・学年の仲間に
関心をもち、かかわりをもとうと
する気持ちを育てていきたい。

自他のよさを認める 中学年

題材	「年組なかよし大作戦」
ねらい	自分や友だちのよさに関心を持ち、気付き認め合うことができる
工夫点	「よさ」の視点を広げる 新聞づくりで伝え合う
準備	アンケート調査 *スcoopカード

児童の活動

教師の支援と評価

【事前の活動】	
帰りの会 (常時)	意識調査アンケート 「今日のガンバリスト」発表 友だちのよさを伝え合う活動
	<ul style="list-style-type: none"> 自他のよさに関心をもたせると共にどのような点がよさと感じているか実態を把握する 自他のよさに関心があるか 生活の中で、友だちのよさに関心をもつ活動を取り入れる 子どもの発表した「よさ」の内容を集計しておく

【本時の活動】	
自分・友だちの「よさ」を発表する 「よさ」についての実態を知る 今まで自分では気付いていなかった「よさ」の価値を確認する 友だちの「よさ」を伝え合う新聞づくりの記事取材をする 「スcoopカード」について知る 友だちの「よさ」に関心を持ち、進んで「よさ」を見つけようとする意欲をもつ	<ul style="list-style-type: none"> 事前アンケートや常時活動から実態に合わせて発表者を選んでおく 事前に準備した「よさ」の集計結果を伝える 多くの子どもの気付いていない「よさ」を取り上げ、「よさ」の視点を広げていけるようにする 目に見える「よさ」だけでなく、思いやりなどの気持ちへの気付きも進んで取り上げ、「よさ」の見方・考え方を広げていけるようにする 「よさ」を認めてもらうことのうれしさ、価値を全体で確認しておく 「よさ」の見方・考え方を広げ、いろいろな友だちの「よさ」を見つけるカードの説明をする 「」は、ある行事や期間を区切って活動できるように限定してもよい(運動会練習・総合的な学習等)

【事後の活動】	
ある期間	「スcoopカード」を使って友だちの「よさ」を進んで見つけ、記事材料集めをする
学級活動	新聞づくり(国語科との関連可)
帰りの会	新聞発表 発表後掲示
	<ul style="list-style-type: none"> 「よさ」の見方・考え方を広げ、いろいろな友だちの「よさ」を見つけている 役割を決め協力して新聞づくりに取り組めるようにする 認め合い、伝え合う活動が継続して行えるよう配慮していく

留意点 「新聞づくり」を目標に、本時の学習で気付いた新しい「よさ」の価値を進んで見つけようとする活動(事後の活動 記事材料集め)を継続する。そして、新聞づくり、発表、掲示という一連の活動で子どもたちの間によさを認め合うことのこころよさ、伝え合うことのうれしさなどを体験を通して、実感させることができる。
【関連】心のノートP42~45「ひとりじゃないからがんばれる」や道徳2-(3)「友だちと互いに理解し、信頼し助け合う」と関連づけることで、さらに自主的な活動が期待できる。



今日のガンバリスト

	見つけたよ！今日のガンバリスト
月	
火	
水	
木	
金	

ガンバリストを
見つけて・・・

*注 はじめに「よいところ」を記入してから「こんなふうにのぼしたい」を記入する

↑ 常時活動があるなしにかかわらず関心を高め実態把握するために活用できる

スクープカード

新聞づくりの記事をいっぱい集めよう

	がんばってやるね	やさしいね	ナイス！アイデア	他にもみつけた

↑ 「ぼくのわたしのよいところ」は掲示したり、学期ごとに貼りたしたりする工夫もできる

↑ 「よさ」の視点で見る。広げよう。合をてちは指導者常時取りよ

「よさ」の視点で見る。広げよう。合をてちは指導者常時取りよ

題材	・・・ 「わくわくバンク」をつくろう
ねらい	・・・ よさ（長所の宝）を発見しあい、「長所の宝」を紹介し合う
工夫点	・・・ 「お宝紹介」活動
準備	・・・ *バンクカード* 「お宝チェック」カード *ありがとうメッセージカード

児童の活動

教師の支援と評価（ ）

【事前の活動】	
帰りの会	<p>自分の長所（よさ）を考え、「バンクカード」に記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見つけられない子どもには、声をかけ、友だちに聞いたり、教師が助言したりする ・長所は宝であり、大事にしている自分のよさであることを話す 自分のことを理解し、表現できる ・「バンクカード」から、自分のよさを見つめられている実態を把握しておく
【本時の活動】	
<p>「お宝チェック」を行う 自分の「長所」はどの視点のよさかわかる</p> <p>小グループをつくり、「バンクカード」を見せ合う、グループ内の友だちの「バンクカード」に長所の宝を書き足す</p> <p>友だちに書いてもらった長所の宝を見せ合う</p> <p>グループでまとめた「バンクカード」を他のグループと交換し、気付いた友だちの「長所の宝」を記入する</p> <p>自分のバンクカードを見る</p> <p>自分の「長所の宝」の一つを紹介する準備をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの「長所」のとらえ方をまとめて「お宝チェック」カードを作成しておく ・「お宝チェック」カードから長所のとらえ方がたくさんあることに気づけるようにする ・見せ合う活動がスムーズにいくよう支援する ・友だちのよさ（長所の宝）やチェックポイントから、よさのとらえ方を広げ自分や友だちのよさをもっと見つけられるようにする ・友だちに書いてもらった長所の宝や全員の長所の宝を見て、いろいろなよさがあることに気づく ・バンクカードは「よさ」とそのチェックポイントを記入し発見者も記入できるようにする ・進んで友だちの長所を見つけカードに記入している ・友だちに「よさ」として認めてもらったことをカードを通して知ること、認められる喜びを実感させる ・紹介する長所が決められない子どもにはグループの友だちに相談できるよう声かけをする
【事後の活動】	
朝の会 帰りの会	<p>自分で決めた「長所の宝」を一つ紹介し自信をもてるようにする</p> <p>「お宝紹介」活動で友だちの長所の紹介に感想や教えてくれてありがとうのメッセージを送る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自信をもって発表できるように、友だちと練習したり、発表のリハーサルの場面を設けたりして、個々の紹介が充実するよう支援する ・自分のよさに自信をもち、発表したり、友だちの発表にメッセージが送れたりできる

留意点 長所を発見する観点は学級の実態から考慮し、知識・技能で競う雰囲気をおおったり、よさを否定してしまうような言動がでないよう配慮することが必要である。「お宝チェック」の項目は、実態に合わせて子ども同士で認め合うことで、誰もが気持ちよく、どの子も認められるものと考え決定していくことが望ましい。長所を紹介する時間は、子どもと一緒に担任も子どもも一人一人の「長所の宝」を賞賛し、学級全体が認め合う雰囲気に広がっていくよう配慮していくことも大切である。

【関連】心のノートP44～47「友だちっていいよね」や道徳2 - (3)と関連づけることで、「よさ」の価値を高めたり、考えを深めたりして、自主的に活動することができる。

なまえ

わたしの長所の宝は……

お宝チェック

★		👉
★		👉
★		👉
★		👉
★		👉

わくわく

バンクカード

👉 お宝チェック 👉

👉
 すごいね！！
 が得意だよ
 ができるよ

👉
 さすが！！！！
 について
 よくしてるよ

👉
 びっくり！！
 みんなの知らないこんなこと
 できるよ・・知ってるよ

👉
 あったかいね！
 の世話をしたり
 するのが得意だよ

👉
 やさしいね！
 こまってる友だちがいたら
 すぐに声かけちゃうよ

認める、認められることで
 子どもたちひとりひとりが
 自信をもち、この繰り返し
 が子ども同士の信頼関係を
 築く基盤となります

さんへ
くんへ

メッセージ

より

* 「何かができる」だけでなく、目に見えないやさしさ・思いやり等も取り上げチェック項目に増やしていけるとよいと思います。